

関西聚 活動報告書



活動名：自然学習ゾーン整備

活動日：2020.6.28(日)13:30～15:00

リーダー名：伊東 俊廣

報告者：伊東 俊廣

参加者：(一般参加者4人 スタッフ6人、美交工業1人 合計11人)

スタッフ：大川 英登、山本 勲、東川 悞、小久保 広宣、岩崎 和子、伊東 俊廣

活動内容：

1. 生き物調査

昆虫調査 37種の確認

草本調査 50種確認

2. 昆虫保護ゾーン整備

セイタカアワダチソウの除去

その他野草の草刈り：膝から腰位の高さで刈り取り

植栽の確認 ウマノスズクサは根付いている

ススキの新しい茎が伸びだした

3. カブトムシの発見

萌芽更新中のクヌギにメスのカブトムシを確認

今年2月に植栽した、ヤマザクラの根元にオスのカブトムシを確認

活動報告・感想など

午後の活動には、メールで活動案内を送っているグループから、1家族3名の方が午前引き続き参加してくれ、昆虫調査に同行。その他は草本調査と昆虫保護ゾーンの整備に分かれて活動を行った。

午前中のレッツ久宝探検隊で、カブトムシの飼育箱の成虫が確認されたが、樹名板の取り付け作業中にも萌芽更新中のクヌギの枝にカブトムシがいるのを子供が発見。また草本調査中にヤマザクラの根元でもカブトムシが確認された。飼育責任者の東川さんも、苦勞が報われてきたと感激。

昆虫保護ゾーンでは、ウマノスズクサが無事育っており、再度植え直したススキも新しく茎をのばし始めていた。しかしながらバッタ類は姿を見せず、様子を見る。

午後からの草刈りは暑さでやられそうだったので、早めに切り上げ、調査の終了を待って活動を終えた。

活動写真

		
萌芽更新中のクヌギにカブトムシ (メス)	昆虫保護ゾーンウマノスズクサ	昆虫保護ゾーンススキの再生
		
昆虫保護ゾーン除草後	ヤマザクラ根元にカブトムシ (オス)	昆虫調査活動中
***	***	***

🌸 たくさんのご参加、ありがとうございました！

※ブラウザを閉じてお戻りください☆